

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

平成16年度病害虫発生予報第12号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成16年度病害虫発生予報第12号(3月)

【野菜】

作物名	病害虫名	発生現況 (平成16年)	発生予想 (平成17年)
ナス	うどんこ病 灰色かび病 すすかび病	少ない 並 並	少ない 並 並
トマト	灰色かび病 菌核病 葉かび病	やや多い 並 多い	やや多い 並 多い
イチゴ	灰色かび病 うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類	並 やや少ない 並 多い	並 やや少ない 並 多い
キュウリ	べと病 うどんこ病 灰色かび病	やや少ない 並 少ない	やや少ない 並 少ない
野菜共通	ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	やや少ない -	やや少ない -

1 トマトの灰色かび病

(1) 予報の内容

発生量：平成16年よりやや多く、前年より多い

(2) 予報の根拠

ア 2月5日半旬調査の結果、発病果率は0.4%（平成16年：0.1%、前年：0.05%）であった。

イ 気象予報では、3月の平均気温及び降水量は平成16年並と予想されている（以下の病害虫についても同じ）。

(3) 防除上注意すべき事項

ア ハウスの換気を行い、多湿にならないよう管理する。

イ 病勢が進展すると防除が困難となるので、発病前または発病初期の防除を徹底する。

ウ 発病葉、発病果は除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

エ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

オ 薬剤防除は、使用基準を守り、危被害防止に努める（以下の病害虫についても同様）。

2 トマトの葉かび病

(1) 予報の内容

発生量：平年より多く、前年並

(2) 予報の根拠

2月5半旬調査の結果、発病葉率は9.9%（平年：3.5%、前年：10.8%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア ハウスの換気を行い、多湿にならないよう管理する。

イ 草勢が低下すると発病が助長されるので、適正な肥培管理を行う。

ウ 病勢が進展すると防除が困難となるので、発病前または発病初期の防除を徹底する。

エ 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

オ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

3 イチゴのハダニ類

(1) 予報の内容

発生量：平年より多く、前年並

(2) 予報の根拠

ア 2月5半旬調査の結果、寄生株率は13.1%（平年：2.4%、前年：5.0%）であった。

イ 気象予報では、3月の平均気温及び降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 多発生後は防除が困難となるので、早期発見、早期防除に努める。

イ イチゴ以外の植物にも寄生するので、ほ場周辺作物の薬剤防除や除草を行う。

ウ 寄生した株からかぎ取った複葉や抜き取った雑草は、ほ場周辺に放置せず速やかにビニル袋等に入れて密閉し処分する。

エ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

4 野菜共通のコナジラミ類

(1) 予報の内容

発生量：-

(2) 予報の根拠

ア 2月5半旬調査の結果、寄生葉率はトマトで0.1%（平年：5.6%、前年：0.6%）、ナスで5.0%であった。また、発生ほ場率はナスで75.0%であった。

イ 気象予報では、3月の平均気温及び降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 昨年、ナスでは春先からシルバーリーフコナジラミが増え、果実が汚れる被害が出ているので注意する。
- イ 多発生後は防除が困難となるので、早期発見、早期防除に努める。
- ウ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

【茶】

作物名	病害虫名	発生現況 (平年比)	発生予想 (平年比)
茶	カンザワハダニ	やや多い	やや多い

1 カンザワハダニ

(1) 予報の内容

- ア 発生時期：平年・前年並
- イ 発生量：平年よりやや多く、前年並

(2) 予報の根拠

- ア 2月5半旬調査の結果、茶樹表層の寄生葉率は0.2%（平年：1.4%、前年：1.8%）、50葉当たり寄生虫数は平均0.1頭（平年：1.6頭、前年：1.6頭）であった。
- イ また、裾葉の寄生葉率は4.3%（平年：2.3%、前年：5.3%）、50葉当たり寄生虫数は平均15.1頭（平年：3.4頭、前年：9.5頭）であった。裾葉の発生ほ場率は66.7%であった。
- ウ 茶樹表層及び裾葉ともに越冬ダニの産卵が認められ、一部ほ場では孵化幼虫の発生も認められた。
- エ 気象予報では、3月の平均気温及び降水量は平年並と予想されている。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 産卵数が増加する前（平坦地域では3月5～15日頃、山間地域では3月15～25日頃）の防除を徹底する。

3月の気象予報（1か月）

（予報期間 2月25日～3月25日）

2005年2月25日
福岡管区气象台発表

【概要】

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並の可能性が大きいでしょう。

九州北部地方では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

【要素別確率】

（単位％）

要素	低い （少ない）	平年並	高い （多い）
気温	30	50	20
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

- < 1週目の予報 > 2月26日～3月4日
この期間の平均気温は、低い可能性が大きいでしょう。
- < 2週目の予報 > 3月5日～3月11日
この期間の平均気温は、平年並の可能性が大きいでしょう。
- < 3～4週目の予報 > 3月12日～3月25日
この期間の平均気温は、平年並か高い可能性が大きいでしょう。

参考資料

福岡における平年値

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温

向こう1か月			平均気温（ ）		
平均気温（ ）	降水量(mm)	日照時間(h)	1週目	2週目	3-4週目
9.3	95.7	134.9	7.9	8.9	10.2

病虫害防除所では、病虫害の発生状況と防除について、ホームページでお知らせしています。アドレス及び番号は下記の通りです。

ホームページアドレス
電子メールアドレス

<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka>
kfok0301@sp.jppn.ne.jp